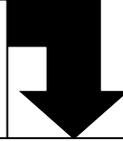


【的中問題！】一部ご紹介致します！

大原：公開模擬試験－第1問設問3

文中の下線部について、総務省「平成21年、26年経済センサス－基礎調査」、総務省・経済産業省「平成24年、28年経済センサス－活動調査」に基づき、2009年から2016年の期間について、業種別小規模企業数の推移を見た場合の記述として、最も適切なものはどれか。解答は問3へマークせよ。

- ア 小売業、建設業、製造業の企業数は減少傾向である。
- イ 小売業の企業数は減少傾向、建設業の企業数は増加傾向である。
- ウ 小売業の企業数は増加傾向、建設業の企業数は減少傾向である。
- エ 製造業の企業数は減少傾向、小売業の企業数は増加傾向である。
- オ 製造業の企業数は増加傾向、小売業の企業数は減少傾向である。



本試験：第2問

総務省・経済産業省「平成28年経済センサス－活動調査」に基づき、産業別企業規模別企業数(民営、非一次産業、2016年)を見た場合の記述として、最も適切なものはどれか。

なお、企業数は会社数と個人事業者数の合計とする。企業規模区分は中小企業基本法に準ずるものとする。小規模企業数割合は産業別の全企業数に占める割合とする。

- ア 建設業の小規模企業数割合は、小売業を上回り、製造業を下回っている。
- イ 建設業の中小企業数は、製造業を上回り、小売業を下回っている。
- ウ 小売業の小規模企業数割合は、製造業を上回り、建設業を下回っている。
- エ 製造業の中小企業数は、小売業を上回り、建設業を下回っている。

大原：公開模擬試験－第11問

財務省「法人企業統計調査年報」に基づき、2007年度から2020年度の期間について、企業規模別に労働分配率の推移を見た場合の記述として、最も適切なものはどれか。解答は問15へマークせよ。

なお、企業規模は小規模企業、中規模企業、大企業で比較する。小規模企業は資本金1,000万円未満、中規模企業は資本金1,000万円以上1億円未満、大企業は資本金10億円以上の企業を指す。労働分配率は人件費を付加価値額で除して算出する。

- ア 企業規模が大きいほど労働分配率は高く、大企業に比べて中規模企業及び小規模企業では、長年にわたって高止まりしている。
- イ 企業規模が大きいほど労働分配率は高く、中規模企業及び小規模企業と比べて大企業では、長年にわたって高止まりしている。
- ウ 企業規模が大きいほど労働分配率は低く、大企業に比べて中規模企業及び小規模企業では、長年にわたって高止まりしている。
- エ 企業規模が大きいほど労働分配率は低く、中規模企業及び小規模企業と比べて大企業では、長年にわたって高止まりしている。



本試験：第12問設問2

文中の下線部について、企業規模別に労働分配率の推移を見た場合の記述として、最も適切なものはどれか。

なお、ここで大企業とは資本金10億円以上、中規模企業とは資本金1千万円以上1億円未満、小規模企業とは資本金1千万円未満の企業とする。

- ア 小規模企業は、大企業よりも低く、中規模企業よりも高い。
- イ 小規模企業は、中規模企業よりも低く、大企業よりも高い。
- ウ 大企業は、小規模企業よりも低く、中規模企業よりも高い。
- エ 大企業は、中規模企業よりも低く、小規模企業よりも高い。
- オ 中規模企業は、小規模企業よりも低く、大企業よりも高い。

㊄ 中小企業経営・中小企業政策

【総評】

令和5年度の本試験は、42問の設問数であり、出題内容別で見ると、中小企業経営が21設問、中小企業政策が21設問と、例年どおりであった。

難易度は、中小企業経営は例年どおりやや難しかったが、中小企業政策は定番論点で確実に得点を積み重ねたいところである。全体的には難易度は例年並みであると考えられる。

（中小企業経営）

21設問のうち、『2022年版中小企業白書』からの出題が18設問、『2022年版ものづくり白書』からの出題が1設問、その他が2設問であった。中小企業経営は、白書の特徴をしっかり押さえられたかが得点に大きく影響する。

第2問（企業数）、第3問（売上高経常利益率と自己資本比率）、第4問（開廃業率）、第6問（借入金月商倍率）、第10問（研究開発費と能力開発費）、第11問（BCP）、第12問（労働生産性と労働分配率）を中心に、その他の問題で可能な限り得点を積み重ねたい。

（中小企業政策）

21設問のうち、概ね例年どおりの頻出論点を取り上げられている。ただし、合格基準点である60点を上回る得点を獲得するには、中小企業政策で、これまでに出题されたテーマをいかにミスせずに得点できたかがポイントとなるだろう。

頻出論点である第19問（中小企業者の範囲、中小企業基本法）、第20問（新創業融資制度）、第21問（小規模企業共済制度）、第22問（高度化事業）、第25問（IT導入補助金）、第26問（法人税の軽減税率）などで得点を積み重ねたい。

以上